



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

宇宙に 新たな知を 求めて

参加費・無料

東京で学ぶ 京大の知 シリーズ13

かつて宇宙は、ロマンと空想の世界であり、身近な存在ではありませんでした。しかし、近年、GPS利用や太陽フレアによる大停電など、人間社会と密接に関わり出してきました。さらに、多くの人々が、宇宙創生の話から第2の地球探査など、宇宙科学に幅広い関心を抱き、現代人のものの捉え方、その哲学にまで大きな影響が見られます。今、宇宙研究は単なる科学技術から、文化面も含む総合学に変革しつつあります。多様な分野の研究者を結集し、世界に発信していく京都大学の「宇宙総合学」。その一端を4人の講師がお話します。

[主催] 京都大学 [講演時間] 各回 / 18時30分~20時

第1回 11月27日(水)

宇宙と人文社会科学
~宇宙総合学研究ユニットの試み~

磯部 洋明

学際融合教育研究推進センター・准教授

宇宙での人類活動の拡大に伴い、「宇宙」の研究領域は人間や社会にも広がっています。哲学、倫理学、人類学、社会学、宗教学など、人文社会科学系を含む新しい宇宙研究を開拓する京都大学の試みを紹介します。



第2回 12月4日(水)

探査機・人工衛星・ロケットの
飛ばし方の極意

山川 宏

生存圏研究所・教授

太陽系の惑星を縦横無尽に飛び回る探査機、気象衛星・GPS衛星・放送衛星等の地球を周回する人工衛星、そして、それらを打ち上げるロケットの設計の方法、最新の飛行計画についてお話します。

第3回 12月11日(水)

宇宙論の進展

田中 貴浩

基礎物理学研究所・教授

宇宙はどのようにして始まったのだろうか？宇宙の果てはどのようにになっているのだろうか？そのような誰もが抱く素朴な疑問を、観測と既知の物理法則の応用によって解き明かすのが宇宙論です。その進展をお伝えできればと思います。



第4回 12月18日(水)

赤外線で、銀河系の中心部まで
見とおし、系外惑星をさぐる

長田 哲也

理学研究科・教授

望遠鏡に赤外線センサーを取り付け、可視光では見えない宇宙を観測しています。星形成の歴史を明らかにし、巨大ブラックホールに落ち込むガスからの放射や、太陽系以外の惑星を直接観測する道が開けてきました。

■ 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階

TEL | 03-5479-2220 FAX | 03-5479-2221 E-mail | t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL | <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>

京都大学東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、
FAXまたはメールでお申し込み下さい。各回定員100名、締め切りは11月15日(金)です。
全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。
なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。

